

## 止まり木



## これでいいのだ



今日の全校集会は久しぶりにグラウンドに全員が集合し、実施することができました。一人一人の顔を見ながら、みんなの空気を感じながら話することができて本当にうれしく思います。今日は、昭和の時代に活躍した赤塚不二夫さんという漫画家についてお話ししました。『おそ松くん』、『ひみつのアッコちゃん』、『もーれつア太郎』といった数々のヒット作を知っている人もいました。その赤塚さんの代表作が『天才バカボン』です。みんなが知っているとしたらY!mobileのコマーシャルで出川哲郎さんが演じているのがバカボンのパパです。当時も今も「ギャグ漫画」という位置づけの作品です。校長先生が子どものころの作品で、当時は正直言うとばかばかしいマンガだなと思っていました。しかし、最近見た記事の中で、赤塚さんがバカボンのパパを通じて発していたメッセージに気づかされ、感動しました。作品の中で登場人物である「バカボンのパパ」はこう語ります。

「わしは バカボンのパパなのだ  
この世は むずかしいのだ  
わしの思うようにはならないのだ  
でも わしは大丈夫なのだ  
わしはいつでもわしなので 大丈夫なのだ  
あなたも あなたで それでいいのだ」

赤塚さんと親交のあったタレントのタモリさんは、バカボンのパパを通して語られる赤塚さんの思想についてこう述べました。赤塚不二夫の考えは、すべての出来事、存在をあるがままに前向きに肯定し、受け入れることです。

それによって人間は、重苦しい空気から解放され、軽やかになり、その時その場が明るく感じられます。この考えを赤塚不二夫は見事にひとことで言い表しています。

すなわち、「これでいいのだ」と。

みんなもなかなか自分の思うようにいかず、悩むときがあるかもしれません。しかし、自分は自分、人は人とそれぞれを認めることが大切なんだと改めて教えられました。自分を認め、他人を認め、そして自分の課題に挑戦していく、そんな一人一人になってほしいと思います。

努力することをいとわず、前を向いて頑張っているみんな、**「それでいいのだ！」**

**テスト勉強も最後まであきらめずに頑張っていきましょう。**